

職場環境等要件への取組みについて

社会福祉法人古殿町社会福祉協議会

区分	職場環境要件項目	当法人の取組み
入職促進に向けた取組	・法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	第2期地域福祉活動計画（令和6～11年度）に基本理念等を掲載し、社協ホームページで公表している
	・職場体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業能力向上の取組の実施	学生の職場体験の受入れや福祉まつりなどを通じて福祉職場の魅力を発信している
資質の向上やキャリアアップに向けた取組	・働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	「職員の職務に関する資格取得に係る受験料等助成要綱」を整備し助成を行っている。また、職員の資質向上に向けた各種研修への受講料を負担している
	・上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	年2回、全職員を対象にした個人面談を実施している
両立支援・多様な働き方の推進	・子育てや家族等の介護等と仕事を両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	「育児・介護休業等に関する規則」を整備し対応している
	・有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り組んでいる	年に10日以上の子休を付与している職員に対して、必ず年に5日以上の子休を取得できるよう組織として取り組んでいる
腰痛を含む心身の健康管理	・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	全職員への健康診断の実施と要精検者への受診勧奨。年2回のストレスチェックの実施している
	・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	マニュアルの作成、委員会による事例分析等で共有化を図っている
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）の	・現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	毎月「経営戦略会議」を開催し、課題の抽出や対応等について協議している
	・5S活動（業務管理の手法の1つ。整	衛生委員会を定期的に開催し、5S活動

ための取組	理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	の徹底を図っている
	・業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	グループウェア（サイボウズ）を活用し、業務の効率化に努めている
	・業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、間接支援業務に従事する者の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。	それぞれの事業所で業務分担を明確にして対応している。また、間接支援業務に従事する職員を別途採用している。
やりがい・働きがいの醸成	・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	定期的に職場内ミーティングを行い、勤務環境・職場環境の改善に努めている
	・支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	毎月「業務連携会議」を開催し、情報の共有に努めている

(R7.6.1)